

映画「わが青春つぎるとも」第二次上映運動の成功を!

県実行委員会開き新方針確認

3月9日(土)、映画「わが青春つぎるとも」埼玉県実行委員会が開催され、大野辰男事務局長から、要旨、次の報告と提案がされ、確認されました。

①埼玉県における「第二次上映運動」は、この間、緑区(90名)、坂戸・鶴ヶ島(106名)、大宮地域(104名)、埼玉会館(413名)の4ヶ所で成功させ、これで、合計23会場、鑑賞者数が5千953名となり、目標の8千名には届かなかったが、関係団体や皆様のご奮闘とご協力に心から感謝する。

②来年25年4月まで、延長された「第3次上映運動」を成功させるために、未使用の上映債権の活用、川越、ふじみ野など未開催地域での上映運動の促進、若者への働きかけの強化、債権を使わない「新方式」の上映会の開催の促進、特に小規模上映会を重視して取組みを強め、目標の8千名をめざす。



「不屈」No598付録 埼玉版 (No426)

治安維持法犠牲者 国家賠償要求同盟 埼玉県本部 〒330-0063 さいたま市浦和区高砂 2-3-10 黒澤ビル3B 電話・Fax 048-824-0094 chian2022@gmail.com 郵便振替 00110-7-83245

埼玉「春を呼ぶつどい」57名の参加で盛会 藤田廣登氏の熱い講演に参加者感動……、飯島喜美の不屈のたたかい学び、決意も新たに!

埼玉県本部と女性の会共催で、開催した今年の「春を呼ぶつどい」は、3月23日(土)午後1時半から埼玉会館7階会議室で開催され、来々が治安維持法制定百年の年になり、地元メディアの取材も行われ、また案内チラシを見て治安維持法に関心がある中学生が親子で参加するなど、国賠同盟運動への新しい期待の広がりを感ぜさせる集会となりました。

加藤ユリ会長が挨拶

埼玉同盟は、戦前の大弾圧、3・15、4・16事件の記念行事として、この時期に、講演会や学習会を開いて、不屈に闘った人々に学び顕彰しながら活動を進めてきたと述べ、あらためて戦前の弾圧事件に触れながら、この戦前の政治を反省しない、いまの自民党政治を鋭く批判、歴史

「希望ある新しい政治」を一緒につくりましようと呼びかけました。 感動をよんだ藤田氏の記念講演 藤田氏は、この日のため沢山の資料を準備され、また、壁に資料を貼り出して情熱をこめて、約一時間、「女工哀史を超えた紡績女工 飯島喜美の不屈の青春」と題して講演されました。また、質問、交流の時間でも、解りやすく丁寧に答えて大変好評でした。講演の内容は、県同盟のホームページからユークチーフで公開していますので、ご覧ください。今回の集いは、再開した「女性の会」が、司会、受付などを受け持ち大活躍、また、東山寿美子会長の閉会挨拶には大きな拍手が寄せられ好評でした。 〈感想文から〉喜美の不屈さに胸が震えた、自分も頑張りたい。レジメ、資料が緻密で話に説得力があった。国家犯罪と責任を明快にした話でよく理解できた。国賠同盟の仲間を広める大切さが分かってきた。参加してよかった、納得できた集会で、講師と主催者に感謝したい。講師の話はドラマを観ている様だった、映画化に期待する。等々

署名強め「国会請願」の成功を

国賠署名の目標と到達状況 2024年3月末現在

Table with 6 columns: 支部名, 個人目標, 到達, 団体目標, 到達, 遂行率. Rows include 岩槻, 川越, 春日部, ふじみ野, 行田羽生, 直属, 合計.

国会請願署名推進コーナー

Table with 2 columns: 個人署名, 署名数. Rows include 橋本静修, 服部英昭, 小池莊市, 前田則子, 小池三枝子, 今成富貴子, 小室仁弥, 川口市, 14筆.

Table with 2 columns: 団体署名, 署名数. Rows include 田中久子, 倉又孝夫, 新日本婦人の会, 行田9条の会, 春を呼ぶつどい, 日本共産党西部地区委員会, 同 東部南地区委員会, 同 さいたま地区委員会, 同 西南地区委員会, 同 入間市教職員後援会, 国賠同盟 行田・羽生支部, 同 春日部支部, 同 岩槻支部, 田中久子, 所沢市, 14筆.

国賠同盟埼玉県本部の「ホームページ」をご覧ください



このQRコードを「スマホ」で読み取れば「埼玉県本部のホームページ」がご覧になれます。

3月期末、死亡・退会者を乗り越え会員数で最高の峰へ到達

3月は年度末でもあり、今年度末をもって退会申し出や死亡4名、計13名の処理があり、「後退するのではないか」と心配していましたが、事務局からの強い呼びかけもあり、また、「春を呼ぶつどい」の参加者が次々入会され、2支部7人で14名の会員を拡大、先月築いた最高の峰を更に1名前進する会員302名の同盟になりました。 さて、4月から中央本部が呼びかけた「第41回大会の成功めざす署名・会員拡大特別期間」(4月1日〜6月30日)が始まりました。 連帯して頑張りましょう。

熱風

埼玉県の秩父にログハウスを建て住み着き、木工場で生計をたてながら反戦や脱原発をテーマに講演活動をする、元イスラエル軍兵士ダニー・ネフセタイさんをご存知の方も多いと思う。「抑止力」という考えはもうやめよう。の本の帯に魅せられ「イスラエル軍元兵士が語る非戦論を一読して大層共鳴した」次世代に豊かな地球を引き渡すために、大人の責任として戦争をやめるにはどうしたらいいのか。そのカギになるのが、敵に攻められないよう「抑止力」を持つ、「武器による平和」という理屈からわたしたちが卒業することです。それは、決して非現実的でも「お花畑」のような考えでもなく、逆に極めて現実的であることを、皆さんに実感を持って受け止めてもらうために、わたしの体験を参考にしていただけたら幸いです。(まえがきより) ▼またダニーさんの最近の発言から・・・日本はイスラエルからもパレスチナからも信頼されている数少ない国です。アメリカの言いなりになるのではなく、憲法9条を生かして仲介役を果たしてほしい。それが、平和憲法を持つ日本の使命だと思います。まったく同感である。(池)



事件探訪 秩父墓碑

第19回

宮川津盛の墓碑

篠田 健一

秩父郡上日野沢村の大山神社の神官宮川津盛は、近郷に名望があることから、同村の村竹茂市の頼みにより明治一七年一月二八日の門平惣平宅で開かれた小前会議に参加した。三日後の三十一日の小前会議の終了後、田代栄助を自宅に泊めた。栄助五〇歳、津盛五六歳、二人はこの夜何を語り合ったのであろうか。

一月一日朝、津盛は栄助に袴一式を渡し、そろって家を出て棕神社に向かった。棕神社の境内にある小学校で加藤織平らをまじえて職務の分担、隊の編成、進軍の順序、高利貸営業

者の家宅破壊等を協議し、津盛は会計副長の任につくことになった。武装蜂起後は栄助と共に甲隊に属して下小鹿野村から小鹿野町、そして大宮郷に進軍。大宮郷では栄助から一六五円を渡され、そのうち一〇〇円を甲大隊長の新井周三郎に渡し、三四で草履と木綿を買い各隊に配布した。三日皆野村に進軍し、負傷した新井周三郎の手当ために裕と白木綿を買い求めている。明治一八年一月三十一日、浦和重罪裁判所は津盛に重懲役九年六月を言い渡した。浦和監獄入獄後の明治二二年、大日本帝国憲法発布の大赦で出獄し帰郷。その後、彼が開いた塾には門平耕地をはじめ近隣耕地の子弟があつたと絶たなかつたという。明治三八年一月二八日に死去、享年七七歳だった。

【交通】秩父鉄道皆野駅より皆野町営バス上日野沢行き東門平下車徒歩約15分。

時話題

「反共は戦争前夜の声」について考える



徴用工問題 被害者を置き去りにしたままでは解決にならない

さいたま市北区平和フォーラム代表世話人 児玉 捷之

私は定年退職後、「絵画教室」に通つて子どもの頃好きだった絵を再び学び、最近「平和をテーマ」に油絵を描き、毎年「展覧会」に出している。

昨年、「日本アンデパンダン展」に出展した私の作品を「民主文学」七月号の「芸術批評のひろば」欄で

とりあげてくれたので引用させていただきます。『今回のアンデパンダン展は、第二次世界大戦を思い起こさせる作品が多かった。小林多喜二の特高警察による拷問死を描いた小池莊市『反共は戦争の前夜』。多喜二の死体が横たわる周りを囲む同志達。その上に描かれた昭和天皇と東条英機。そしてヒトラー。戦争反対と言っただけで虐殺された。アウシュビッツで殺された無辜の人々。今、二一世紀で

起きていた戦争を憂いている芸術家達の、心の叫び声が聞えて来た」と。私は、絵のタイトルを「反共は戦争前夜の声」としたが、その歴史の岐路にあるとき、「反共の後に何が来たのか？」歴史の教訓を学ぶ必要性を強く感じたからである。戦前、日本もドイツも、侵略戦争に真つ向から反対する共産

日清・日露戦争のなかで日本政府は軍事的強圧的、差別的に朝鮮に踏み込んでいった。韓国併合の一九一〇年以降の植民地支配では土地調査事業、産米増殖計画によって朝鮮社会の八割を占める農民の生活は極端なまで貧困化したなかで、朝鮮人強制的に労働(徴用工)、日本軍慰安婦問題があつた。軍事的、強圧的、差別的に行われた深刻な人権侵害と被害の責任について、日本は背を向けている事が問われているのである。

『強制連行された』もしくは『強制的に連行された』または『連行された』とひとくくりに表現することはない」との政府答弁書を閣議決定したものである。それによって教科書会社もそれに従つて従軍と強制を削減、閣議決定の従軍慰安婦の表現と強制連行・強制労働の表現について詳しく知らせる教員向けと生徒向けのリーフレットを作つてさらに徹底するように配布をしたのである。歴史に目を閉ざし、被害者を置き去りにしたままでは解決にならない、日本政府・被告企業が強制動員の事実を認めて真摯に謝罪し、その証として償いのために資金を拠出し、同じことを繰り返さないための措置を具体的に講ずること、そのために被害者原告及び遺族との協議の場を設けることこそが求められている。

慰安婦問題と強制連行をめぐる答弁書を閣議決定したのは二〇二一年四月、『従軍慰安婦』また

「国会請願」まで一ヶ月、最後の追い込みで「署名集め」を成功させ50回目の節目の「請願行動」の成功を... 二人の手記を掲載します

罪人のまは許されない

その心を署名に込めて

治安維持法下の時代、世界恐慌のあおりを受け、不況のなか日本は中国へ活路を求め侵略へと突き進む。天皇の絶対的専制支配のもと国民は天皇の臣民とされ貧困と無権利状態におかれ、文字通りものも言えない暗黒の時代、弾圧を恐れ多くの国民が絶えていた。その様なき、権力に抗し命の危険を覚悟して戦争反対・自由と民主主義を掲げて立ちあがった者たちがいた。

そして、戦争に敗けたこの方々の命の叫びが今日の憲法に生かされた。にもかかわらず日本では「治安維持法犠牲者」は今日に到るも罪人のまゝなのである。署名をお願いします

署名をお願いします。国がきちんとお詫びをして名誉を回復していただく、このことが今を生きる私たちの責任です。小林多喜二や伊藤千代子の話をします。署名用紙は何時も持ち歩き気軽にお願いし友人知人への頼める方が居たらお願いしますと用紙を預けます。自分が

党が先ず弾圧された。日本では稀代の悪法と云われた「治安維持法」で...、絵の中に、国賊、非国民とセンセーショナルに報道する当時の新聞を貼りつけたが、3・15事件では、千六百名の共産党員らが逮捕され過酷な拷問を受け、それを小説で告発した小林多喜二もまた逮捕されその日の内に凄まじい拷問で虐殺された。

ドイツでは、ナチス自らが仕組んだ「国会放火事件」を共産党のせいにする謀略事件を起こして弾圧。これによって、当時百議席の国会議員を有していたドイツ共産党は壊滅、忽ち非合法化され、ナチスの一党独裁政治が始まった。いま、「新しい戦前になるのでは」と云われている時、『反共は戦争前夜の声』の意味をより多くの人々に知ってもらいたいものと思う。

(大宮平和美術会 小池)



「反共は戦争前夜の声」F40

大切な「黄色の署名」 持ち歩くことが必須

狭山市 林 登美男

参加するサークルや団体の集まりにも出かける署名用紙を回覧方式で回すこともあります。治安維持法の話は民主主義の問題です、難しく考えないでお願いします。署名するしないは相手が決めること。ひとりでも多くの署名を集め国会へ届けましょう。犠牲者のいのちの叫びに応えましょう。

国賠同盟は、闇夜を照らす光だ。一隅を照らす組織的な源であり希望そのものだ、と確信する。だからこそ、たとえ求められなくてもハーモニカを携え自転車30分程の距離にある駅前宣伝行動に積極的に参加する。場を和ませ、注目の的になる。浦和駅頭にて「戦争させない！埼玉の会」の一員としての行動、ギター・バンジョー・三線・トロンボーン等の合奏のある時も「希望の楽団」の名までついている。その中で、まさにハーモニーを醸し出す楽器と言ふことができる。(次ページ)